

夏の玩具

記

者

▲夏の玩具と言へば砂遊びと水遊びに關係したものがその大部分を占めて居る。先づ砂遊びに關係した玩具には木製とブリキ製のスピードや鍬や馬鍬まぐがある、ブリキ製のは例のペンキ仕立て、甚だ感じがよろしくないが、木製には瀟洒な焼繪が施してあつて見た目も美しい。

▲夏の子供はスピードや鍬で砂場を掘りかへす、山をつくり、池をつくり、林をつくる。砂の凹凸だけで子供は豊かな景色を想像する、然し陶土製の汽車や柵や鳥居や富士や橋や旅人や帆掛舟や松の木があつたならば彼等はどうなにか喜ぶであらう

▲機敏な玩具商人は陶土製の鳥居や旅人や松の木に鍬まで添へ、箱入りにして店頭に並べて居る。

子供はこれによつて作り附けの箱庭を作るのも面

白からう、毎日變つた景色を砂場に作つてみるのも更に愉快な仕事であらう。

▲次に水遊びに關した玩具であるが、これには種々ある、昔から縁日商人のよく賣つて居る「水中花」といふのがある、折れた線香のやうなのを水に入れると濕つて膨大し、菖蒲花と咲いたり、屋根舟となつて小さい浪間に浮び上つたりする。

▲それから近頃をルロイド製の精巧な睡蓮が出来て居る。これは子供の玩具といふよりも大人の觀賞用に供せらるべきものである。これに對して「水に住む女神」の連想を得るなぞといふことは晴れやかな子供達の領分外の出来事である。

▲覗き眼鏡から思ひ附いて出来て居る紙製の水族館がある。側についてゐるネヂをひねると小さい

魚が動く、動く。然しいそれだけの玩具である
▲鹽に水を張つて浮べるにはセルロイド製の魚がある、白鳥がある、ゼンマイ仕掛けで抜手を切るブリキ製の游泳人形がある。

▲水鐵砲(鉛のビストルにゴム製の球が附いて居る)は愉快である。太郎と次郎が水鐵砲を打ち振りつゝ、喊聲を揚げて家鴨の群を襲撃する様が目に見える。「め組」などと書いた龍吐水の玩具がある、ちやんちやんこを着た下町の子供を思ひ浮べる。

▲水遊びになくならないものは舟であらう。玩具店にも舟の種類は多い。ブリキ製のと木製のと土製のとがある。

▲ブリキ製には近代的の船舶が多く、軍艦や商船を巧みに摸したのがある、木製には獨木舟や三角帆船や五大力等がある、土製の舟はすべて簡單である、中には眺めるだけで浮ばないものもある
▲篋込みになつて居る木の舟がある。外縁の一まわりを外すと前よりは一まわり小さい舟になる、

もう一まわり外すと更に小さい舟になる。この舟は三つが一組みで箱入りになつて居る

▲これは舟の大きさをいろいろにすることが出来るから面白い、いろいろの大きさの舟を小川の上流から出發させてボートレースをさせて見るのも面白いに違ひない

▲狸の乗つて居る舟と、兎の乗つて居る舟とで一組になつて居る玩具がある、これは子供が水の上で小さい劇的本能を満足させる材料となるのである。白木で拵へた水車の玩具がある、小さな臼と杵とが取附けてあつて米が搗げる様になつて居る
▲適當な流水に据ゑて精米を一手に引受けやうとする子供も出て來るのであらう。その他小さい鹽や洗濯枚や片手桶などが一式箱入りになつて居るものもある。幼い女の子供に喜ばれるものとしてはまだアケビヅルの旅鞆に大皿、小皿を始めとしてビール瓶、ナイフ、フォーク等の西洋料理道具一式を詰め込んだのがある。